

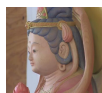
陸前高田発

「あゆみ観音」開眼法要

津波で流された陸前高田市の松を使って作った観音像「あゆみ観音」の開眼法要が行われました。

高さおよそ1・4メートル

の観音像は、高田松原で遊ぶ幼い女の子をイメージしています。津波の被害を受けた松をつなぎあわせ、東大寺など奈良県内の寺院を中心に巡回し、5000人を超す人がのみを入れ、およそ1年をかけて完成しました。観音像は陸前高田市内の寺に安置されます。(7/11 ニュースエコー)



陸前高田発

復興グルメF-1大会



東日本大震災の被災地の仮設商店街が自慢の味を競う「復興グルメF-1大会」が陸前高田市で行われました。今回は3県から16の商店街が参加しました。陸前高田市の「高田大隅つどの丘商店街」の地元産ウニが入った具材を中華まん

につけて味わう『ウニがのってる高田のゆめまん』など、海の幸のグルメが並び、訪れた人たちは食比べを楽しんでいました。(7/13 ニュース)

東京発

「タコ丼」東京デビュー



陸前高田市の財当仮設住宅で暮らす主婦たちが考えたオリジナル丼「タコ丼」が、ランチタイムのメニューとして東京デビューしました。

この「タコ丼」は、昨年開かれた県内の仮設住宅対抗「オリジナル丼グランプリ」で見事優勝したメニューです。「タコ丼」の人気は上々で、店内ではたくさんの注文が入っていました。また、店頭販売のお弁当は、用意したおよそ60個が一時間あまりで完売。「タコ丼」は漁の最盛期が終わる9月ごろまで関東で展開する居酒屋「四十八(ヨンパチ)漁場」の山王パークタワー店と五反田店の2店舗で提供・販売されます。(7/14 ニュースエコー)

山田発

「荒神海水浴場」再開



震災の影響で利用出来なくなっていた山田町船越地区の荒神海水浴場が再開します。震災後、山田町内で海水浴場が再開するのは初めてです。

荒神海水浴場は船越半島の最南端に位置し白い砂浜が人気です。海中のガレキを取り除いたほか、仮設のシャワー室やトイレが設置され、7月20日に海開きが行われます。山田町の佐藤信逸町長は「多くの観光客に来てもらい、復興の様子を見てほしい」と話しています。(7/15 ニュースエコー)

洋野発

東北希望コンサート



第32回東北希望コンサートが洋野町立大野中学校体育館で行われました。ゲストは大槌町出身で高校一年生歌手の白澤みさきさん。会場には中学生180名の他に向田小学校の児童50名、保護者、教職員など約250名がみさき節を楽しみました。にしています。(7/16)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、広田半島の先端部の黒崎仙峡温泉(日帰りのみ)について伝えてくれました。お湯は無色透明、泉質はカルシウムやナトリウムを多く含み、とてもやわらかなお湯。食堂では三陸の海の幸が味わえ、今の時期は生ウニ丼もお得な価格で食べられますし、アワビの時期にはアワビも…。自らハンドルを握りバスで市内の仮設住宅への無料送迎を行っている黒崎仙峡温泉の理事長村上新一さんは「ぜひたくさんの方にいらしていただきたい」と話していました。(7/16)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122